

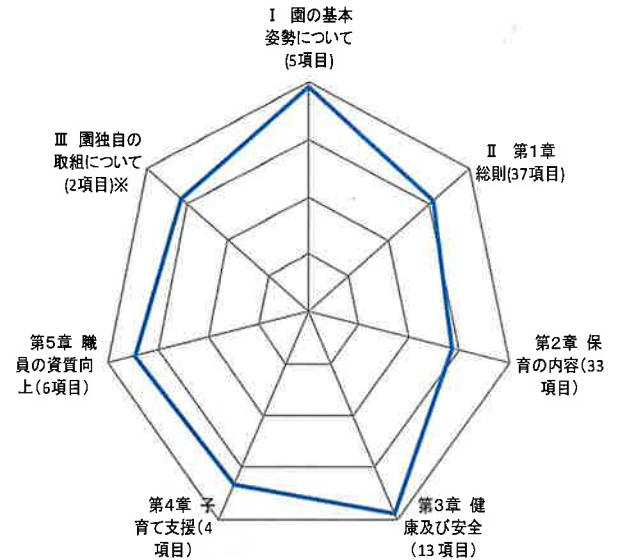
当園では、保育者一人ひとり、また保育園全体の質の向上を図るため自己評価を実施しました。

<評価方法>

十分理解できている（十分できている）…◎3点 理解している（できている）…○2点 ふつう…▲1点 努力が必要…×0点

集計結果

回答人数	10人			
	2023年6月実施			
評価	◎	○	▲	×
I 園の基本姿勢について(5項目)	20	27	3	0
II 第1章 総則(37項目)	109	140	84	37
第2章 保育の内容(33項目)	79	116	102	33
第3章 健康及び安全(13項目)	62	52	13	3
第4章 子育て支援(4項目)	12	16	12	0
第5章 職員の資質向上(6項目)	18	29	12	1
III 園独自の取組について(2項目)※	4	11	4	1



※1. 保育をするうえで自分自身が大切にしていること（心構え）が明確である。

2. 自己評価など定期的に自分の保育を見直している。

【令和4年度 自己評価総評（気づき・振り返り・改善点等）】

- ・行事を終えるごとに子どもたちの成長にいつも驚かされた。自信が持てる子やさらに意欲的になる子など前向きな子どもたちの姿から褒めながら進めることの大切さを学んだ。
- ・日々保育をしていくなかで、一人ひとりの成長のためにどのような関わりをしたら良いのかを考えながら保育を行っていきこうと心がけたが、上手い出来ない場面が多々あり、自分の知識の足りなさを改めて感じた。再度、指針などを見直し学びに繋げていきたい。
- ・複数担任を経験し仕事量の軽減以上に、一人ひとりの子どもに合った対応への相談により、方向性を決めることができ、精神的にも安定した取り組みができた。
- ・送迎バスについて、他県で置き去りなどの事故があり、マニュアルなど業務内容を見直した。確認や報告など注意を払っているつもりだが、忙しい業務を抱えているなかで些細な見落としや確認不足が大きな事故に繋がることを認識し、職員や運転手と情報を共有しながら努めていきたい。
- ・体調不良の時の電話連絡やコロナ禍ということでクラス閉鎖の電話連絡をする際に、保護者と保育園・担任との良好な関係があったからこそ、忙しい中にも関わらず温かく受け入れてもらえたように感じた。今後も小さなことでも丁寧な対応を心がけ、保護者との信頼関係を築いていきたいと思う。
- ・“不適切な保育”について、園内研修等を活用し保育者としてふさわしくない言動は何かなど、今までの保育を見直し、子どもたちが安心して過ごしやすい最適な環境設定を行っていきたい。